

SDGs研修会



「協働する探究のデザイン」 ～すべての教師が大切にされる探究へ～

高等学校で「総合的な探究の時間」に変わり、ますます期待される「探究学習」。しかし、どう取り組んでいいのか、そもそも探究とはどのようなものなのか、悩んでいる方も多いようです。

世界的に注目された米・High Tech Highの教育プログラムを日本に紹介するとともに「良質な探究の一般普及」を目的に「こたえのない学校」を設立し、「Learning Creator's Lab」を主宰している藤原さとさんが、愛媛に来ていただけることになりました。**愛媛では初めての研修会**。こんなチャンス、二度とない！本物の探究を知りたい方は、ぜひご参加ください！！



日時

11月19日(日)10:00～15:30
受付9:30～

場所

愛媛大学教育学部2号館4階
多目的講義室①

愛媛県松山市文京町3番
(伊予鉄道・市内電車赤十字病院前下車・徒歩5分)

参加費

無料

申込み

下記アドレスまたはQRコードから
申し込みください。

<https://forms.gle/wdA5KqFoVzZjvW6v7>



講師 藤原さとさん

一般社団法人 こたえのない学校
Representative Director

「協働する探究のデザイン」
(平凡社)の著者！
ついにさとさんが愛媛に！！



問合せ 愛大・ESDラボ事務局

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学教育学部教育臨床講座内
担当:藤原 一弘(愛媛大学教育学部)

E-mail fujiwara.kazuhiro.xb@ehime-u.ac.jp



理念：INQUIRY FOR ALL（良質な探究の一般普及）

こたえのない学校にとっての「探究」とは他人の人生ではなく、自分の人生を生きる。そのスタートは、自分と自分の身の回りをとことん探究する子ども時代からはじめます。周辺のちいさな世界、家族、友人、困難、幸せなひととき、仕事、そして、宇宙につながる自然など、さまざまなものに出会い続ける中で、「じぶん」がだんだんとわかってきます。

人生はだれかが「こうだ」と教えてくれるほど、簡単なものではありません。出会いの旅路の中で、だんだんに切り拓かれていくもの。

自分の好きなものはなんだろう。私にできることってなんだろう。そんなことを考えながら歩いていくうちに、見えてくる風景があります。

そのうち、わたしたちは一人だけで生きているわけではなく、たくさんの人や動物や自然に支えられて生きていることにも気がついていきます。

そこにゴールはあるようで、ありません。「これがゴールだ！」「これがわたした！」「これが正しかったんだ！」と一瞬思っても、山を少し登れば違う景色が眼下に広がります。

「こたえのない学校」としてみましたが、「こたえ」はあるのかもしれないし、「ない」のかもしれない。それすらわからないのだから、歩き続ける。そんな旅をご一緒しませんか？

「こたえのない学校HP」から <https://kotaenonai.org/principle/>



【確認・留意事項（必ず確認してください）】

- ① **愛媛大学キャンパス内には駐車場はありません。**近隣の駐車場か公共交通機関をご利用ください。当日は他のイベントや学会も予定されており、キャンパス内及び周辺は混雑が予想されます。余裕をもってお越しください。
- ② 研修会当日は、スタッフの指示に従ってください。研修会時に起こった事故、怪我、トラブル等に関しては主催者及び講師は一切の責任を負いません。予めご了解の上、ご参加ください。
- ③ 当日は、カジュアルな服装でお越しください。
- ④ 事務局において研修会の様子を撮影します。撮影した画像は個人が特定されない範囲で、HP・報告書等に活用します。予めご了承ください。
- ⑤ 当日は、基本的な感染対策にご協力ください。
- ⑥ 申し込みは先着順で受け付けます。

講師紹介【藤原さとさん】

日本政策金融公庫にて中小企業・新規事業融資に従事後、米国留学中に国際労働機関（ILO）のマイクロファイナンス部門で少額融資のスキームを調査。帰国後、ソニー（株）本社経営企画管理・戦略部門で、海外企業との共同開発、技術・資本提携等のプロジェクトに携わる。長女出産後ヘルスケアコンサルタントとして医療機関再生、地域包括ケアシステムの構築サポート、ミャンマー保健省と協働した現地乳がん検診事業立ち上げのリード等を行う。2012年度都内区立保育園父母会長。2014年に「こたえのない学校」を設立。30以上の小学生向けの探究カリキュラムを開発・実施。

2016年より学校教員・民間教育者・保護者・企業人など教育変革をめざす多様な大人が探究する学び場「Learning Creator's Lab」(LCL)を主宰。米ハイ・テック・ハイやデンマークのエグモント・ホイスコーレン、MITメディアラボ等の海外教育の研修や視察にも携わる。慶應義塾大学法学部政治学科卒・米国コーネル大学大学院公共政策学修士（M.P.A.）

著書に『協働する探究のデザイン』『探究する学びをつくる』（ともに平凡社）、『子どもの誇りに灯をともし（企画・解説）』（英治出版）『ラクガキのススメ（共同執筆）』（あいり出版）

（「こたえのない学校」HPより参照）

科研費
KAKENHI

※ 本研修会は、JSPS科研費22K02576の助成を受けて実施します。